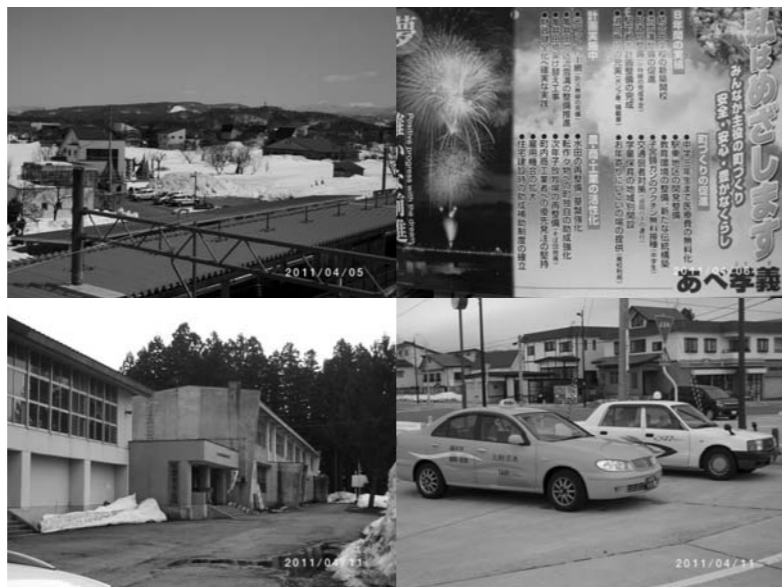


町長の公約果たせるか

町長…最大限努力する



大山 二郎 議員



公約は町民との約束

町長 都市計画方式でやるため、土地開発公社に命じている。

町長 不安定な社会情勢のもと、短期間に具現化できるもの、時間をかけて検討するものがある。今後、多機能型複合施設建設や地域交通の確保、高齢者施設の充実、廃校の活用等、最大限の努力をする。行政も政治も継続性がある。4年間で約束を実行できるようにしたい。

駅東開発はどうしているか。

町長 駅東地区開発「若者タウン構想」の推進をはかりながら、町の賑わいと活性化をはかる上からも定住促進に向け条例化、制度化を進めてゆきたいと考えている。

公約は新年度予算にどう反映しているか
町長 国・県と協議の上、各ワクチンの無料接種、小学六年までの医療費無料化、また認定農業者への支援拡充、今宿地区道路改良や鷹巣・駒籠地区流雪溝の全体計画等だが、健全財政が原則なので、施策が完全ではない。

高齢者タクシース券は公平にすべき、条例改正を町長 今宿地区は別枠で考えるが、本町地区は今まで通り。地区や距離で格差を付けるなど検討する。

高齢化が進む当町では、流雪溝整備だけでは不十分。除雪できない高齢者も増えている。もったいめ細かな除雪体制を構築すべきだ。
町長 協働力の強化や、隣接単位での助け合い、ボランティアの育成、除雪隊の編成など大事だ。他市町村の実態や動向に学び、財政状況も勘案しできることは実施する。



林業の振興をはかれ

戸別所得補償やTPP問題等山積する情勢の中で町の農林業の振興策は、町長 今年度から実施された戸別補償政策で昨年度7千万円であったが、今年度は4億円をこえる金額が米作農家に入ることになる。このような中で今後の国の政策を注意深く見据えながら状況に応じた対応策を考えており、予断を持って振興策を提示する状況にはない。町内木材の活用については経済対策や定住対策を県の方針と関連付けながら推進していく。

町長 駅東地区開発「若者タウン構想」の推進をはかりながら、町の賑わいと活性化をはかる上からも定住促進に向け条例化、制度化を進めてゆきたいと考えている。

定住促進条例を制定し、人口増対策に取り組む考えは。



定住促進で人口増を

工場設置等奨励委員会条例があるが、町内に工場等が進出しやすいように産業振興策を実現、促進すべきだ。

町長 企業の誘致が見込めそうな時点で委員会を設置し、万全の対応をします。



齋藤 公一 議員

農林業の振興策は

町長…予断を持って振興策を提示する状況にない

飼料米栽培に対し産地資金を活用できないか。産業振興課長 23年度はスイカに対し2万4千円の補助がなくなるので、町の重要作物なので産地資金で対応する考えであり、飼料米に対しては、今のところ考えていない。